

## 箕輪山山行報告

【山行日】2020年10月21(水) 晴れ後曇り  
【集 合】栃木市運動公園P AM 5:00  
【費 用】マイカー1台 : 4,900円  
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、清水カ、関、福島、  
【コースタイム】栃木市運動公園 P5:00=横向登山口  
P7:10/7:30~箕輪山 9:40/9:50~笹平 10:40~  
箕輪山 11:00~鬼面山 11:40/12:30~旧土湯峠  
13:20/13:30~横向登山口 14:10/14:20=くだもの畑  
15:00/15:30=栃木市運動公園 P17:20



山溪10月号に「紅葉の山々」という特集が載り、その一つに箕輪山が紹介され灌木の鮮やかな紅葉が目をつけた。18年前、奥岳登山口から安達太良山経由で野地温泉まで縦走した時の箕輪山の紅葉が甦り、是非登りたいと思い計画した。ところが平日山行ということもあり、参加者は5名と少なく残念な思いで出発した。東北道を北上し、本来なら磐越道から国道115号線を行く方が近いが、



トイレの関係で東北道二本松ICから降り、国道459号を通り道の駅「土湯」でトイレを済ませる。ここから国道115号を走り、土湯トンネルを抜けた先から旧道へ降りると直ぐに横向き登山口がある。路肩に2~3台止められるスペースがあり、ここに車を止めて出発の準備をする。道路の反対側に登山口の案内標識があり、標識に従って樹林帯の登山道を登って行く。登山道はスキー場のリフトに沿って付けられており、時折樹間からスキー場が見られる。ブナやダケカンバの樹林

帯の中、標高差700mを直登するハードな登りである。リフト上部の建屋を過ぎると、登山道がえぐれて滑りやすくなり慎重に進む。先頭のSLは家を出るときに玄関前で転び、ストックに力を入れると脇腹が痛いとうめきながら登って行く。傾斜が段々きつくなり、標高1500mを超えると森林限界となり視界が開ける。灌木帯の中を歩くようになり、サラサドウダンの鮮やかな赤で彩られるはずだが、時季的に遅くほとんど葉が落ちてしまっていた。さらに山頂付近は安達太良山から雲が流れて来て、時折雲で見えなくなっていた。登るにしたがって風も強くなり、雲が陽射しを遮ると寒く感じる。



鬼面山への道を左に分け、ほんの少し登ると箕輪山山頂に着く。晴れると視界が開け360度の展望が広がるが、直ぐに雲が広がり視界を遮る。記念写真を撮ったら鉄山避難小屋に向かい、南に向かって下って行く。ところが登山道が火山灰で滑りやすく、右手を使えないSLはギブアップし途中で待つことにする。4人で下って行き笹平分岐を過ぎると登りになり、少し登った所から箕輪山を振り返ると山容が素晴らしい。紅葉は終わっていたが、ハイマツの緑と枯れたドウダンやナナカマドのコントラストが美しい。ここからの景色で満足し、SLが待つ場所へ戻ることにする。岩陰で待つSLと無事合流し、箕輪山まで登り返す。山頂は相変わらず晴れたり曇ったりを繰り返す、スカッと晴れることは



無いので鬼面山に向かう。この登山道がさらに凄まじい悪路であった。深くえぐれた泥状の道で、えぐれた底は滑りやすく歩けない。両脇の狭い縁を木の枝を頼りに掴まって降りるが、右脇が痛いSLは大変そうで時間が掛かる。途中開けた場所から下が見え、鉄山北面の紅葉が素晴らしく歓声が上がる。さらに下ると鬼面山との鞍部に出て、平坦な道を進むと直ぐにガレた登りになる。しばらくガレた登山道を登り、山頂手前の平坦な場所でランチタイムとする。風が当らず景色も良いので、ようやくホッと出来た。今日の山ご飯は焼きそばとポターツジュスープに出汁巻き卵や大学芋、チクワ等が並び超豪華。紅葉を眺めながらのんびりランチを楽しみ、鬼面山に向かう。ほんの一登りで山頂に着き、晴れて穏やかで360度の大パノラマが得られる。箕輪山が目の前に見え、登って来た稜線を見て「あんな急な所を登ったんだ」と満足そう。眺望を楽しんだら旧土湯峠

無いたので鬼面山に向かう。この登山道がさらに凄まじい悪路であった。深くえぐれた泥状の道で、え

ぐれた底は滑りやすく歩けない。両脇の狭い縁を木の枝を頼りに掴まって降りるが、右脇が痛いSLは大変そうで時間が掛かる。途中開けた場所から下が見え、鉄山北面の紅葉が素晴らしく歓声が上がる。さらに下ると鬼面山との鞍部に出て、平坦な道を進むと直ぐにガレた登りになる。しばらくガレた登山道を登り、山頂手前の平坦な場所でランチタイムとする。風が当らず景色も良いので、ようやくホッと出来た。今日の山ご飯は焼きそばとポターツジュスープに出汁巻き卵や



大学芋、チクワ等が並び超豪華。紅葉を眺めながらのんびりランチを楽しみ、鬼面山に向かう。ほんの一登りで山頂に着き、晴れて穏やかで360度の大パノラマが得られる。箕輪山が目の前に見え、登って来た稜線を見て「あんな急な所を登ったんだ」と満足そう。眺望を楽しんだら旧土湯峠



に向かって下山する。ここから横向き登山口までの登山道が素晴らしい。紅葉を見ながらゆっくり下れ、SLは「私は鬼面山だけだったらまた登りたい」とご満悦。旧土湯峠で休憩し、柿やナシなど残りのおやつを完食し下山する。峠から登山口までの道は紅葉が見頃で、のんびり歩いて登山口に着いた。靴を履き替えたなら帰路につき、道の駅「土湯」でトイレタイム。くだもの畑でリンゴを買いたいとの要望があり、少し遠回りになるが国道115号を福島西ICに向かって進む。くだもの畑

に着くとテーブルに案内され、リンゴの試食が4種類出てきた。飲み物や昆布の佃煮、温泉卵など至れり尽くせりのお接待を受けお土産をゲットする。皆さん好みのリンゴを2種類購入し、満足そうな顔で車に乗り込む。車の中も会話が弾み、予定より少し遅れたが無事に栃木市運動公園へ帰着した。